

第 193 回 日本材料学会 岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 21 年 5 月 11 日（月）12：10－17：30

場 所：東京電力 松本電力所 梓川総合制御所

出席者（敬称略）：朝倉俊弘（委員長），岡野法之，菊地宏吉，重田佳幸，田中莊一，寺田道直，中井卓巳，畑 浩二，笹尾春夫（幹事） 以上 9 名。

1. 見学

・東京電力(株)松本電力所 奈川渡ダム，水殿ダム，稲核ダム，その他

東京電力(株)松本電力所，中野靖氏のご案内で奈川渡ダム他を見学させていただいた。特に奈川渡ダムでは，特別に監査廊内部を詳細に案内いただいた他，ダム下流面のキャットウォークにも特別に立ち入らせていただいた。また，見学終了後，梓川総合制御所の会議室をお借りして委員会を開催した。

2. 委員会報告・審議

(0) 前回議事録の確認-----（資料 1 頁）

笹尾幹事から前回議事録の説明があった。特に修正点は無く，承認される。

(1) 総説等原稿の推薦について-----（資料 3 頁）

原稿執筆の対象となるトピックスが無い場合，投稿を見送ることとした。

(2) 委員会活動報告ご執筆依頼-----（資料 5 頁）

例年どおり，その年度の委員会開催状況を加筆し，また，その他文章を適宜修正のうえ学会に送付した旨幹事より報告があり，承認された。

(3) 平成 21 年度事業計画・平成 21 年度予算書-----（資料 8 頁）

平成 21 年度事業計画・平成 21 年度予算書について幹事より説明があった。20 年度決算については，ほぼ収入・支出がバランスしており，21 年度予算においても同様であり，今後，繰越金を大きく取り崩すことは無いと予想される旨説明があった。

【意見】

・昨年度までの大きな収入源であった「ロックメカニクス」他の印税はほとんど期待できないと考えられるため，新たな収入源を得る必要があるのでは無いか。

(4) 会誌「材料」連載講座執筆希望調査について-----（資料 12 頁）

連載講座執筆にはかなりの負担が委員にかかるものと考えられるため，今回は特に希望しないこととする。

(5) 平成 21 年度部門交付金および非会員委員データ管理料について-----（資料 14 頁）

幹事より，現在，材料学会非会員の部門委員会委員は 9 名である旨説明があった。非会員については継続して入会を促すが，入会の強制はできないため，当分，現状のままとする。

(6) 会誌「材料」特集号発刊希望調査の件-----（資料 16 頁）

幹事より，24 年 3 月号で希望を出した旨説明があった。また，22 年 3 月号については 21 年 7 月締め切りとなるため，早急にメールと RockNet で投稿を促すこととする。

(7) 創立60周年記念出版について（お伺い）-----（資料19頁）

学会より会誌記念号への執筆と、記念出版物の刊行について問い合わせがあった旨、幹事より説明があった。

【意見】

・会誌記念号へは部門委員会として執筆することとする。内容については委員長と幹事が相談して作成することとする。記念出版等については今から企画する時間的余裕が無いため、見送る。

(8) その他

・予算に関連して収入源を確保するため、部門委員会主催のセミナーの開催を計画することとする。可能であれば今年度中とする。

・部門委員会の開催場所について、会場費を節減するため桂で開催したことがあるが、交通の便が悪いため、会員の出席率が低くなった。そのため、吉田キャンパス付近で開催するのが望ましく、その場合、会場費を抑えるため、材料学会本部会議室、旧土木本館（赤煉瓦館）などで開催するものとする。旧土木本館は空調設備に難があるため、季節によっては他の環境の良い会議室を探すこととする。

次回開催日程は7/23, 27, 28, 29, 31の順で委員長、講演者他の予定を合わせて調整する。

委員会終了後、中野靖氏をお招きして懇親会を開催した。